

会 議 録

会 議 名	令和元年度第1回 三芳町総合計画審議会
開 催 日 時	令和元年7月12日(金) 15時00分開会 17時00分閉会
開 催 場 所	三芳町役場 5階 501会議室
主宰者氏名	政策推進室
出席者	上島三介委員(会長)、吉野浩之委員(副会長)、石澤香哉子委員、日下部辰男委員、三瓶スミ子委員、尾崎恒男委員、渋谷弘委員、村上久美子委員、鈴木秀幸委員、武田敏幸委員、島田喜昭委員
欠席者	笛木隆雄委員
事務局職員	政策推進室 室長 島田高志 主幹 富田篤 主任 丸野寿子
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">①三芳町第5次総合計画後期計画について</p> <p style="padding-left: 20px;">②三芳町 SDGs について</p> <p style="padding-left: 20px;">③今後のスケジュールについて</p> <p style="padding-left: 20px;">④その他</p> <p>4 閉 会</p>
会議結果	<ul style="list-style-type: none"> ・三芳町第5次総合計画後期計画案について、概ね承認。一部、再度担当課と調整することとなった。 ・三芳町 SDGsの掲載について承認。 ・今後のスケジュールについて承認。 ・第2回総合計画審議会を 10月1日(火)15:00～ 第3回総合計画審議会を 10月24日(木)15:00～ とした。
配布資料	添付のとおり

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	<p data-bbox="427 376 512 409">開 会</p> <p data-bbox="427 465 692 539">あいさつ 上島会長より挨拶</p> <p data-bbox="427 595 549 629">職員紹介</p> <p data-bbox="427 685 491 719">議事</p> <p data-bbox="427 775 1286 808">①三芳町第5次総合計画後期計画について事務局に説明を求めた。</p> <p data-bbox="427 864 1430 938">配布資料に基づき、前回会議からの経緯、位置づけ、事前質問への回答等を事務局より説明。</p> <p data-bbox="427 1039 735 1072">各委員に意見を求めた。</p> <p data-bbox="233 1128 963 1162">渋谷委員 資料 1 の基本計画の PDCA というのは。</p> <p data-bbox="248 1218 1430 1292">事務局 先ほど申し上げた基本計画の下に実施計画があり、それぞれの個別の事業、事業別予算ごとに、毎年事業の進捗を図っている。</p> <p data-bbox="233 1348 1307 1382">渋谷委員 総合計画の達成目標や関連計画だけで進捗を図り、評価をするのか。</p> <p data-bbox="248 1438 1430 1550">事務局 基本計画自体は前期と後期に分かれている。今までの取り組み、前期計画の推進を、実施計画にあたる個別の事業のPDCAサイクルをまわして、達成目標、進捗を図ってそれを踏まえて今回後期計画の策定に反映させる。</p> <p data-bbox="233 1606 1430 1762">渋谷委員 基本計画の PDCA は難しいと思う。実際に動かしている課の話ではないので。だが、やはり基本計画の中でもPだけじゃ駄目だし、Do をやった後にきちんとチェックかけているというのは見える形で何かできないものか。難しいかもしれないが、お願いしたい。</p> <p data-bbox="201 1818 1430 1975">政策推進室長 その辺については課内でも話をしている。基本計画のPDCAサイクル、例えば今の状況であるとか、今後の状況だとかまとめていけばいいのかと。基本構想にあるプロジェクトも、状況を出すべきではないのかという話が出ているが、今状況を見られるのが2年分。今年が終わった段階でこの半期のまとめを上手</p>

	<p>く作って、皆様にお示しできたらと考えている。今まであまり基本計画自体の政策管理もやってきてない部分もあるため、検討している。</p>
渋谷委員	<p>確かにお役所の場合は単年度決算。その年度、年度で締めなければいけないというのはあるだろうと思う。でも、総合計画として長いスパンで考える。その途中でアクションを起こしたことに対する結果がどうなっているかをチェックするという事は、何らか必要だと思う。それを結果論だけでやるのは危険な気がするが、できたら何かチェックできることがないか、考えていただけたらと思う。</p>
事務局	<p>基本計画で定めている進捗状況のチェックは行政評価制度で行っている。ただ、PDCAまで回すサイクルというのがまだちょっと検討中であるということで、やり方を考える。ありがとうございます。</p>
石澤委員	<p>最後に言おうと思っていたのだが、今の箇所に関連するので話をさせていただけたらと思う。達成目標というのが一つ大事なものだと思うのだが、大事なのは課題が上がっている中で課題がどれだけ潰せたかとか、新しい課題が出てきたというところだと思う。ところによっては課題が変わっているが、例えば、協働のまちづくりなんて課題が変わっていない。課題がどう変化したか、課題をどう乗り越えたか、町の方が把握できていない印象が少なくてもあった。数値に固執するのではなく、課題を書き直す方が重要ではないかと感じる。</p>
事務局	<p>ヒアリングを行った中でこういった結果となってしまった。次の素案についてはもう少し詳しく見ていきたい。</p>
上島委員	<p>まだ2年なのでわからない部分もあるかと思うが、ここまでの間で大きく変わりつつあるとか、変わったとかってところが今見えているとしたら、何か表すことは考えられるか。</p>
政策推進室長	<p>個別であれば、すでに施策が達成されたというものについては現状の部分に移してくれというふうにした。例えば消防組合統合。課題を解決したら現状に入れるようなサイクルにはしたが、実際課題が解決しているかどうかというのはまだ。</p>
上島会長	<p>変わりつつあるというのはわかる。計画なので、今見えているものだけでいい。令和5年まで見ろというのは難しいので。ここ1年で変わったものというのは、各課から出てきた中であるか。</p>
事務局	<p>こども子育て包括支援センターの話とかは出てきたりはしている。課題とかだったら、LGBTとかいう新しい語句とかが出てきた。</p>

上島会長	その辺を検討というか、全部洗っていくと大変だろうが、大きいところが扱えるといい。
渋谷委員	(事前質問の)13番の方に関係すると思うのだが、町のエリアを超えた課題。こういう小さい町なので、どうしても周辺と関わらざるを得ない。例えば高速道路。インターを作るといっても、三芳町だけが利用するわけじゃない。そういった意味でこういう道路計画というか、大変難しいことだと思う。懇話会で町長にもお話をしたのだが、やっぱりこういう広域で物を考えるという事もこういう総合計画に必要なのではないか。
政策推進室長	確かに、消防だとか広域にして考えたりするというのは今まで多かった。時代が変わって、市町村競争、人口争奪戦みたいな感じっていうのが出てきて、今はあまり広域というのは言っていない。ただ三芳町の場合、所沢市とふじみ野、富士見市等に挟まれている関係上、どうしても大きな市町村なしではやっていけないのかなというところがある。今までの広域とは違った計画というのは、やっていくべきだと思う。ただ、総合計画に落とすというのは、様々な考え方があってなかなか難しいとも考える。以前は、項目として広域化という政策があったが、今は減った。ただ、大切な部分だと思うので、これは考えていきたい。
渋谷委員	全く総合計画がタッチしてないというのは変に感じる。
政策推進室長	ある程度裏付けがないと書けない。その辺の調整とかも必要になってくる。ご意見として伺う。
上島会長	それでは、委員の皆さんが置かれている立場等からご意見質問を。
日下部委員	道路の話等いろいろあったが、最終的にお金の話になると話がひとつも進まない。そうすると、計画も何もない。自分としては計画というのはこういうことをやりたい、というのがないとだめだと思う。道路計画にしても、緑の保全にしても、なんにしてもお金と相談してからやりますよ、だと答えにならない。お金がない話は駄目。お金がないけど、こうやって何とか頑張りましょうって言わなければ、こういう計画は要らない、と自分は思っている。 それからまちを作っていくというなかで、区長会として一番困っているのは、どういうふうにしたら住民が自治会又は区に入るか。社協の会員も同じ。一人ひとり話をすると、そういう組織は大切、となる。逃げ口上としては、三芳町は災害も何もない、非常に安心。なので、絆が弱くなる。考え方はそうだが、だったらどうにかしようという話。住民は減っていないが、自治会員が減っている、社協の会員が減っている。何とかしなきゃいけないのでいろいろ考えるが、なかなか現状としては社会の空気というか社会の流れというか。マンション一つ抜けたりとかもする。これ以上どうやったらいいかわからないというのが現

	<p>状。だから町、社協含め、例えば細かいサークルみたいなどころにも自分たちも行って話していかないといけないのかと思っている。もうすでに止めることができないことになっている。</p> <p>この総合計画だって住民がいないと話にならない、という話になる。結局、住民が町と一緒にやりましょう、とならないと、それに関心がない人が増えれば町自体がやっていけない。子育てしやすい町とか、高齢者にやさしい町とかいろいろな施策があるが、そんなお題目は要らない。現実はどうするかという話を皆で考えていただきたい。</p>
上島会長	社協はいかがか。
尾崎委員	<p>今ボランティアが大変少なくなってきた。高齢化が進んできて、年金をもらえる時期が延ばされている。その間、働かなくちゃいけないので、ボランティアができない。それに、親の介護があるとボランティアを抜けざるを得ない。後継者も問題。また、母子家庭、父子家庭が多くなってきた。ふれあいセンターも人は来るのだが、お酒を飲んでいいことになっている。その辺も難しい問題。</p>
上島会長	お金がない話、協働でどうにかしようというのは。
渋谷委員	<p>振られた担当課は、どうしたって予算の枠で物を考えざるを得ない。そうじゃなくてやっぱりある程度夢ではないが、大きな話を語る場が総合計画の中に見えないと楽しくない。</p> <p>この 12 ページのコミュニティ活性化というのは、今皆さんおっしゃっている通り。例えば、この三芳町役場の中でも、各課がそれぞれやっている。だが、そういうのをまとめて横串をさす。町のために少しでも汗をかいてあげましょうという人達を、町をあげて見つける。何かそういうことは、この中にもあっていい気がする。</p>
島田委員	<p>前の方もお話されているが、結局予算がという話になってしまうというのであれば、これからの 4 年間でこれを実現するぞ、最低限これはやるというものがあるとこれだけのことをやっているというのがわかる。町として何か一つこれだけは実現するというもの、柱が 1 本あれば、それでいいのかと思う。前回休んでいるのでわからない部分もあるが、それがあれば、住民もその実現に向けて頑張ろうと思うので、そういうようなことを一つ、途中での変更ということですが、何かそういうことが、載せられるといいんじゃないかと思う。</p>
上島会長	やれることと我慢することと。
日下部委員	町長にも言っていて、いつも対応してくれないのだが、全部平らでは駄目。これは死んでもやる、だけどここは我慢して、という風にしないと、自分みたいに不

	<p>満が出て、全部同じにしているけど結局何もできなかった、という話になる。町として、この三つをどうしてもやる、だから我慢してとなれば、多分住民はそれで納得できる。全部同じにきれいに網羅するから、また全部やって、結局はお金がないで終わってしまう。</p>
武田委員	<p>本当にみなさんがおっしゃったとおり、一つ大きい柱があれば、その方が動きやすい。また、一つ気になったのが達成目標の項目。これはどのように決めたのか。</p>
政策推進室長	<p>政策に対して各課が出してきたもの。なかなか政策に目標が適しているかというところ…。</p>
武田委員	<p>農家という立場から、この農業振興の中に達成目標が二つあるが、これを達成するというよりもっとやるべきことがある。後継者不足もあって、4H クラブに人を集めるのも精一杯。認定農業者の発掘と言っても、自分からしたら不思議に思うところもあるので、これはどういうところから来たか。</p>
島田委員	<p>今の話に追加で、国が認定農業者を進めていたのは今から20年も前の話で、これが今も重要なのかというのは疑問。農業経営基盤強化促進法だったか、それに基づいてやっているのだが、今それが農業にとって重要なことなのかどうか、それがちょっと僕には感覚的にはわからない。経営工作面積も増えたということだが、何となく手を放す農家もいるように感じる。農地は手放さないが経営を辞めていく農家も、徐々に縮小している農家も多いように思う。そういう中で増えたという数字が出てくることも不思議。それを現状維持ということ、それは大事だと思うのだが、確かにこの目標値というのがこの項目でいいのかどうかというのは、僕自身は疑問。交通安全教室についても、受ける人が増えるといいというのも疑問。目標値は、それで正しいものなのかどうか、住民としてちょっと疑問に思った。</p>
上島会長	<p>このへんの課題は後期が終わるまで見ていく必要がある。目標項目の設定で何を目標にしていくか。ちょっと時間が必要だと思う。</p>
政策推進室長	<p>第5次総合計画で初めて目標値設定をさせていただいて、数字で管理して見ていこうという話なのだが、それは適正なのかというのは難しい話。担当課から言えば取りやすい数値。</p>
渋谷委員	<p>目標値というのは、結果管理。目標値だけで、例えば人数を増やそうとか事故を減らそうとかという、その減った数字を言うのではなくて、減らそうとどうやったか。やり方を考えること自体が大事な事。そういうのを何かで見れないかと思う。</p>

政策推進室長	目標値の方も結構堅く取っている。大きく外れるとペナルティが多くあるわけでもないのだが、もっと挑戦的に示していく数値でもいいかというのは話をしている。例えば交通安全教室の参加者が 1500 減ったから 3000 を 1800 に直したというのは、また別に正しいのかもしれないが、そうではなく、3000 のままでどう 3000 にしていこうという話のほうがいいのかということもある。
渋谷委員	逆だと思う。例えば、事故が減ったというのは結果であって、その過程で、交通安全の講習を受ける人が増えてきたら、そこが関連するのかわからないが、事故も減ってきたというふうになるほうが自然。
政策推進室長	マイナス目標みたいなもの。
上島会長	ぜひこれは事務局の課題として。
鈴木委員	<p>防災の観点で。先週、ちょうど消防団で研修に行ってきたのだが、その時の話で気になったのは、耐震強度は満たされているが、内部構造的に、要するに壁が落ちてしまったら避難できないのではないかという問題。そのような確認が取れているのか気になった。熊本地震でも、1 回目の地震では何ともなかった建物に避難させなかったそう。空いていても。評価できていないから。すると、2 回目の地震で天井が全部崩れたらしい。そういうものの確認は全部の建物でできているのか。地域連携訓練も今年はないが、そういうところ、どうなっているか、確認していただきたい。</p> <p>あと、避難にこだわっているが、その時に研修をしていただいた女性の講師の方。結婚して子供がいらっしゃる方だが、「私だったら絶対家族を避難させません。」と言っていたことが印象に残っている。避難させることというのは本当に大変なことみたいな話だった。避難させないような研修というか、そちらの方も重要なんじゃないか、と、研修で思ったので、何か入れてくれたらいいのかと。避難では無くて、避難しないで済むような訓練とか研修とか、そういうのがあってもいいのではないかと思う。</p>
三瓶委員	<p>今回は総合計画ということで、個別のところは細かく見ない、という話だった。では、個別のところというのはどこをどういうふうに見ればいいのか。見ていると、詳しいこと知りたいという質問が多かった。どこを見ればいいのか。</p> <p>それから、いろいろあるけれども、現在の三芳町が住民にとってどうなのかというところ。確かに不満とかそういうのはたくさんあるが、この間のまちづくり懇話会で、住民の意識調査の報告があり、概ね住んでいてよかったとか、これからはずっと住んでいきたいという、割合いい評価だった。そのところは大事だと思う。そういう中でも、さらに良くするためにはどこをどうしたらいいかというところだと思う。</p> <p>先ほど区長さんがおっしゃったように、この三つだけ、としてその他は目をつ</p>

<p>村上委員</p>	<p>ぶって、ということになると、考え方というのを全く変えてかなきゃいけない。今、パッと見たときに何もやってないじゃないかと思えるかもしれないが、もっと細かいところを見れば、こんなに良くなったじゃないとか、近隣の市町村と比較すればこうふうに良くなっているというのがある。そういうところがもうちょっと住民のところに伝わるというのかと私は思う。</p> <p>それと、もう一つ。住民の意見を反映させる点だが、それが例えばどこなのかというと、この審議会とパブリックコメント、この二つ。ほんとに住民の皆さんから広くお声を聞きながら反映させたものとなったとすると、おおげさじゃないかという気もしなくはない。むしろ、働いてる現場で働いてる皆さんたちの声を十分に聞いていただく方がいいかと思う。</p> <p>冊子はいいものを作らないという理解でいいか。今回配布されたものは、字が小さすぎて見えない。</p> <p>また、それぞれの課にヒアリングを行ったとあったが、町の人全員ではないにしろ 3 月に毎年異動する。本当に手応えのあるヒアリングができているか、ちょっと疑問に感じた。皆さんどこまで真剣に話し合ったりしているのか、その現状を知りたい。素人なりにこういうところに出てきている。皆さん頑張っているのか。現場の職員にとって、どのぐらいの関心度でこのヒアリングをされているのか知りたい。</p> <p>私がここに参加していることで言うと、自然保全・緑化推進。担当は環境課。だが、私が住んでいる竹間沢には三芳町で唯一の斜面林、こぶしの里と呼ばれているところだが、その管轄は都市計画課。そのことに対しては、全然触れられていない。</p> <p>つい最近も、元の持ち主の方が返してほしいということで、当たり前のことだが土地が返却された。ずっと自然観察をしてきたところだが、年度が終わって行ったら、そこが畑に戻って、私たちも入れなくなってしまう。大木も影になるので切られて、すごい衝撃だった。当たり前の権利なのだが。緑地の保全ってなんなのか、すごくその時に思った。子どもたちと、緑地っていいところ、体感しましょうって言ってきたが、それは返してほしいという方のところに帰りました、ということになった。トラスト保全地は公有地になったので、そういうことは起こらないと思うが、こぶしの里は全部なくなる可能性だってある。それでも地蔵さまのところからこぶしの里へ入り、観察は続けているが、子どもにも説明しづらいというか、どうしたのと言われても、説明しづらい。本当に複雑な思い。</p> <p>竹間沢住民として。こぶしの里は、唯一三芳町で湧水が出ているところ。農用林としてできた平地林とは違って、樹種は三芳町で一番多い。生き物たちも来るし、ホテルでいろいろ言われているが、それ自体がなくなってしまうのであれば、何を守っていかう、何を体験させようとしているのかと。環境課が思っていることと都市計画公園として都市計画課が思っていることが繋がっていない。ちょっと総合計画とは違うのだが、そういうことも相談しながらやっていただきたい。今年のちょっと衝撃的な出来事だった。</p>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>違う話で、自治会の加入のこと。マンション住民なのだが、マンションの管理規約に自治会に入ることが書かれているのに、最初の理事長がマンション住民だから入らなくてもいいでしょと判断した。当時大体 2 歳ぐらいの子が多かったのだが、ラジオ体操から何から参加するに当たって問題が出てきた。そこで初めて知ったことが多くて、そうすると子どものいる親だけが最初に入ることになったが、おかしいという話になった。みんな地域住民なのに、というようなことが段々わかってきて、途中で管理規約にもあり、これおかしいでしょということで総会にかけ、全員が入ることになった。ところがまた今ここへ来て、なぜこれに入っているの、という話が出てきている。私はこれでまた丸ごと全員が出るとか、入りたい人だけ入ればというのはおかしいとっていて注目している。だったら規約を改正しなければおかしいでしょ、とっている。</p> <p>みんな面倒な役員が回ってくるっていうのは嫌だとか、回覧版に対してそんなに必要じゃないという人も多い。ただ、地域避難訓練ってすごく大きな役割を担っていると思う。もっとみんなが参加したらいい。みよし台がとても盛んな訓練をされていてうらやましいと思った。お年寄りとかもこんなところで寝てられないとなったらどうするのとか、そういうことこそ、地域と繋がるのが大切と思う場なのではないかと。マンションで備蓄品を買うという話にもなっている。地域防災訓練はすごく必要だと思う。福祉避難所の必要性。お年寄りだったり障害者の方だったり、同じ場所に行けば具合が悪くなったり動きが悪化する。そういったことの重要性。そこは、総合計画を読んで安心した。そういうふうに思っている人はいると思う。中々声は上げられないと思うが。</p>
<p>上島会長</p>	<p>大切なこと。防災訓練等、必要なところから呼び込んでいく。</p>
<p>石澤委員</p>	<p>今までお話いただいたことを踏まえ、2点。</p> <p>一つが達成目標。最終目標が変わったものがあると思うのだが、それを見やすくするというのが必要かと思う。それでなぜ変えたかということが、一言二言でいいのであるといい。そもそも達成目標自体を検討する必要がある。</p> <p>行政評価委員をやらせていただいているが、そこでも話題になる。なんでこの数字かと。必ずしも数値にこだわる必要はない気もするが、なぜその数値を選んだか、書くのは難しいかもしれないが説明できるというのが一つ必要かと考える。</p> <p>もう一つは、総合計画というのはこういうカタログのようなものでいいと思う。一方、そうすると、以前評価委員の方で町のアリバイじゃないかとおっしゃっていたのが印象に残っている。きちんとその優先順位をつけていく必要があると思う。一応重点プロジェクトっていうのがある。それが柱なのだと思うが、なぜこの重点プロジェクトなのかという話がほとんどない。本当にこの重点プロジェクトをやることで、町の人々が納得するかというところが見えてこない。例えば、健康長寿プロジェクトも子育て支援プロジェクトも、結局最終的なことはお金のことでもある。財政を削減するという意味でも、そこをやっていく必要があるということ。そこをきちんと説明する。</p>

<p>吉野委員</p>	<p>ただ、重点プロジェクトの行財政基盤強化プロジェクトはまた別の話だと思う。それは、役所の理由で基本にあっているが、それはちょっと外す。全部やっていったら幾らあっても足りないというのは本当。これはあまり表に出すべきものではないのかもしれないが、重点があってそれ以外という2層構造ではなく、重点以外にも優先順位をもつべきだと思う。外に出すと、なぜこのプロジェクト、我々に関連するところが低いんだという話が必ず出てくるので、あまり細かく出す必要はないと思うが、役場の方で共有していただけたら。それは全体のプロジェクトの優先順位はそうだが、この三つの大分野があるわけで、その中での優先順位を決める。その優先順位を決めるのが理想なのではなく、それに向かって我々がどのように向かって行くというのを見せる、納得してもらおうということ。総合計画の位置付けというのは、実際はどうであれ、町民の皆さんにこういうことをやりたい、納得していただくというためのもの。そこをきちんと説明できるようなものにしていただけたらいい。大きく変えていくのは多分難しいと思う。根底から変えるべきという話、それも重要だと思うのだが、それはおそらく次の総合計画の時にきちんと考えて作っていけばいい。それまでの下地を作っていくのが後期の4年間。</p> <p>見やすさは、非常に大事。割と見にくい。一番最初にインデックスがあって、その下に全部細かい事が出てしまっている。細かいことを知りたい人はどんどんインターネットでクリックしていけば出てくるような構成を頭に、再構成をし直すとかページを分けるとかというのは少し、今回でも次回の総合計画からでも少し意識するといい。わかってもらうこと必要。そうでないと、立派な冊子を出しても意味がないような気がする。</p> <p>お金が無ければ何もできないというインパクトのある話から始まって、全ての話がごもつとも思う。私は藤久保中央通り商店会から出してもらっているのでその観点から。ここにも商店数が出ているが、商店の数が横ばいになっているが、今商店街ってほぼ藤久保通り商店会で、数的には20数件。後継者がいる家はほとんどない。あと数年で多分藤久保通り商店会も名ばかりで無くなっていくのではないかとと思っている。年寄だが文房具屋さん、野菜屋さん、電気屋さん等が集まって商店会を盛り上げていこうと思っているのだが、後継者がいない。マミーマートの通り、そして今、駅からのメイン通り、ちょっと幅を広げて商店会という名前で活動しているが、本当に今、住民の方々、普通に小売りに買いに行くというのは基本的に少ないのかと思う。町の電気屋さん、町の八百屋さん、町のお肉屋さんとかいうよりも、基本的に大手のスーパー、近くにコンビニとなれば、商店会が衰退していて、本当に細々と頑張っている。</p> <p>マミーマートの横に商店会の大型看板があり、藤久保小学校の生徒も通る。来年オリンピックがあるので、県からの予算、商工会からの予算を使ってその掲示板に世界地図を作った。</p> <p>防犯灯も商店会の防犯灯。町のLEDとまた違ったもの。今回いろいろ三芳町で話が出たのが防犯カメラ。よく今テレビで事件事故が起これば、その防犯カメラで検証しているが、そういうのが三芳町のどこがついているのかという点</p>
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

も、防犯上の関係でお聞きしたい。

話は飛ぶが、藤久保6区の自分ところの班は12、3件あるが、そのうちの半分以上が高齢者で70、80歳以上。年上の方は基本的に役ができないので、ご主人が亡くなったり、奥さんがいなくなったりという方々で、1人世帯で区に入らない。役員もできないので、班長になれば集会に出なければいけないという時点で役ができないというような状態。今半分以下になってしまい、今私の家を合わせて4件ぐらいしかない。その4件の中のあと3件もお年寄り。いつやめるのかと思うところで1件残ると、うちだけになる。区に入れない現実的な事情があると思うので、これは区長会の方でそういうやりとりもあり、基本的には難しいと思うのだが、お年寄りでも入りやすいような区に入る条件があるといい。

住民が三芳町に住んで住みよい、暮らしやすいというのがあるが、区に入れない、災害があった場合にその人たちはどうするのか。自主防災、藤久保ではお年寄りマップを作っているが、ひょっとしたら助ける優先順位は区費を払っている人で、区費を払っていない人は後などということにもなってくるのか。

議事②三芳町 SDGs について事務局に説明を求めた。

配布資料に基づき、事務局より説明。

総合計画への SDGs 目標の掲載等について了承。

議事③今後のスケジュールについて事務局に説明を求めた。

配布資料に基づき、事務局より説明。

了承。

議事④その他

・審議会日程の調整

第2回総合計画審議会 10月 1日(火)15:00～

第3回総合計画審議会 10月 24日(木)15:00～

閉 会